

新春を迎えて

人とのつながりを大切にすることは、

自己成長へと発展していくのでしょうか。

充実した人生となるように、

夢と希望は青年から大人へ導くものです。

「人から学び

得られること」

鹿屋女子高等学校1年 岡山 凜子

皆さんにとって、2025年はどんな一年間でしたか。私にとって2025年は、新しい出会いのおかげで自分の世界が広がった年でした。

4月に鹿屋女子高校に入学し、今のクラスのみならず、今までの出会いと仲を深めていく中で驚くことが沢山ありました。髪型を褒めたり、元

きて、自分の世界が広がっていると実感しています。

した。私は、小中9年間同じメンバーでクラス替えを経験したことがありません。ある意味、狭い世界で過ごしてきたので、今のクラスのみならず、今までの出会いと仲を深めていく中で驚くことが沢山ありました。髪型を褒めたり、元

10月から生徒会長を務めていて、人との交流が更に広がると思います。新しい人との出会いを楽しみ、周りの人から学び、より自分の世界を広げ成長に繋げる2026年にしたいです。最後に、皆さんにとっても2026年が素敵な一年になりますように。

「私たちにできること」

川辺高等学校2年 古閑 めぐみ

私は生徒会長を務める中で、日々多くの「気づき」を得ています。その中でも「実現の難しそうな物事でも、諦めずに工夫することで実現できることがある」ということを学びました。

川辺高校の生徒会執行

部では、インスタグラムを活用した本校のPR活動や、時代の変化や生徒の意見を反映した校則の改定などの活動を行っています。しかし、これらの「新しい取り組み」を始めるときにはいつも、失敗などへの不安を先

感じてしまいます。ところが、「まず挑戦してみよう」ということが多くありました。生徒会のメンバーや先生方とミーティングを重ねながらそれぞれのアイデアを出し合うことで、いつの間にか実現可能な

「少しずつ

積み重ねていく」

開陽高等学校定時制課程卒年次 河原 ほのか

私の新年の抱負は、少しずつ積み重ねていくことです。勉強や趣味等においては当たり前のことですが、同時にとても難しいことであるとも思っています。

私は小学校、中学校で不登校であり、高校入

学当初も出席率はあまり良いとはいえませんでした。しかし、両親や先生方等周りの方々の支援を受けて出席率は改善し、卒業の目処も立ちました。その時に、今までの単位を確認する機会があり、自分が想像していた

これから新しい世界へ一歩を踏み出しますが、自分のペースで様々な経験を少しずつ積み重ねていき、夢が実現できるように頑張っていきたいです。

「我慢と失敗と感謝」

牧之原特別支援学校PTA会長 國崎 奈都子

新年の抱負というところ、子供達はピンとこなかったり、なんだか難しく思っています。自分思いを相手に伝えたい。自分の心の中にある思いに正直になること。子どもの真剣な顔や悩んでいる顔、泣き顔、そんな一生懸命な姿を見て親も成長

た顔を見たい。スポーツ観戦が好き、自分でもやってみよう。自分の思いを相手に伝えたい。自分の心の中にある思いに正直になること。子どもの真剣な顔や悩んでいる顔、泣き顔、そんな一生懸命な姿を見て親も成長

けたらと思っています。特別支援学校にお世話になって、自分では分からなかった沢山の人の支援があるのだと気付かされ、人は繋がっているのだと改めて実感しました。今年も、すべての子供達が、その御家族の方々が幸せな一年でありますように願っています。

「ご縁を大切に」

出水商業高等学校PTA会長 福地 靖教

明けましておめでとうございます。新年を迎えるにあたり、私は、「ご縁を大切にすること」を今年の抱負したいと思います。

大学に進学し、一人暮らしを始めた息子が帰省したとき、久しぶりに家

族そろって食卓を囲みました。私たちの元に産まれてきてくれて、育ってくれて、巣立って、そしてまた会えるという家族の縁。これまで当たり前のように思っていた日々の会話や笑顔が、実はかけがえのないご縁の積み

また、PTA会長として、朝の挨拶運動等を通して、生徒たちが笑顔で登校できる明るい学校づくりを進めていきます。挨拶は人と人との縁を結ぶ小さな一歩です。微力ではありますが、周りの方々とご縁を大切に、先生方や保護者、地域の皆さんと力を合わせ、感謝の気持ちで一年を過ごしていきたいと思います。